

活動分野	団体種類	団体名称	郵便番号	住所	活動目的 (団体からの回答による内容)	登録期間
子ども・教育	NPO法人	みなと子ども食堂	106-0044	東麻布1-8-14 日下部ビル202	港区から“子どもの貧困”をなくす “食”を通じて、子どもたちへの豊かな生活環境の提供 子どもの教育格差是正と居場所づくり	令和6年5月17日から 令和9年3月31日まで
子ども・教育	NPO法人	日本未来基金	107-0062	南青山3-3-10-402	子どもたちの成長と学びの機会を支え、将来の自立した生活、ひいては地域住民全体のQOL向上に寄与すること。 主に、子どもを対象としたスポーツや自然、ボランティアなどの体験活動を通じて、多様な価値観に触れ、主体性や社会性を育む機会を提供する。あわせて、SDGsや環境について学ぶ機会づくりにも取り組み、地域や社会の未来につながる活動を目指す。	令和6年11月25日から 令和9年3月31日まで
子ども・教育	一般社団法人	ビリーバーズ	106-0047	南麻布5-3-20 有栖川ビル2F	子どもと大人がそれぞれ自分らしく他者とつながれるような居場所をつくること。	令和7年3月26日から 令和9年3月31日まで
その他 (国際協力)	NPO法人	国際協力NGOセンター	108-0014	芝4-7-1 西山ビル4階mingle内	人々の貧困からの脱却、自律的発展、基本的人権の擁護、対立・紛争の解決、地球環境の保全等に向けて、国際協力を行う日本の市民社会組織、すなわち、NGOの活動の促進および強化を図ること。	令和7年6月16日から 令和10年3月31日まで
医療	NPO法人	多汗症サポートグループ	107-0062	南青山2-2-15 WIN青山531	主に、手、足、脇の下、頭部における体の各部位で過剰に汗をかく疾患である「原発性局所多汗症」患者及びその家族、また、多汗症に関心のある市民を対象として、啓蒙活動、治療やアフターケアなどに悩む人々の相談、患者同士でコミュニケーションの取れる場の提供を行うことで、他者の理解と協力、精神的負担の軽減を目指し、患者のための商品開発、販売を通じて生活の質（QOL）の向上に寄与すること。	令和7年7月23日から 令和10年3月31日まで
その他 (国際協力)	一般社団法人	日米協会	107-0052	赤坂1-11-28	日米両国民の相互理解と友好親善の促進	令和7年10月9日から 令和10年3月31日まで
その他 (社会教育の推進)	一般財団法人	ルビ財団	105-0004	新橋2-5-2 goodoffice新橋	社会にふりがな（ルビ）を適切に増やすことで、あらゆる人が学びやすく、多文化が共生する社会づくりを目指す。 まだ漢字を習っていない子供が興味関心のある大人の本が読めるように、外国ルーツの方々が漢字のバリアなく生活に必要なあらゆる情報にアクセスできるように、また、大人が学び直しをしようとする際に漢字が障害になってその志を実現できないことの無いように、ルビの普及を促進していく。	令和7年10月28日から 令和10年3月31日まで
その他 (国際協力)	NPO法人	CLOUDY	107-0052	赤坂8-12-19 メトロパーク赤坂201	日本とガーナ共和国それぞれにチームを構え、日々密な連携を取りながら、ガーナ現地の人々へ機会と選択肢がある未来を届けることを念頭に、「教育」・「雇用」・「健康」の3つを軸にアフリカで支援活動を続け、社会課題の根本原因の解消にチャレンジし、将来、支援がなくなっても自走できる社会の実現を目指す。	令和7年11月11日から 令和10年3月31日まで
その他 (国際協力)	一般財団法人	港区国際交流協会	107-0061	北青山1-6-3 都営北青山一丁目アパート3号棟 B1F	港区における多様な人々をつなぎ相互理解と交流を深めることで多文化共生の地域社会を実現する。	令和8年1月29日から 令和10年3月31日まで
他団体への運営・活動支援	NPO法人	新公益連盟	105-0013	浜松町2-2-15 ダイヤビル2F	NPOや社会的企業のアクションチームを作り、社会課題解決のための制度改革や様々なセクターとの協働、ソーシャルセクターの経営力強化を行うことを通じて、社会的排除や抑圧、貧困、不正等によって苦しむ人々をエンパワーメントし、日本をより多くの社会課題解決事例が創出され続ける社会とすることで、公益の増進に寄与することを目的とする。	令和8年4月22日から 令和11年3月31日まで
子ども・教育	NPO法人	子供地球基金	106-0032	六本木1-9-4 ザ・レジデンス六本木2202号室	創造力豊かな子ども達を育むことを目的に表現する事の大切さを伝えている。 「Kids Helping Kids - 子どもたちが子どもたちを救う」をスローガンに、世界中の子どもたちへ画材を届け、アートを通じた心のケアや創造活動を続けている。	令和8年9月24日から 令和11年3月31日まで